

国際ロータリー第2590地区



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

HP : <http://www.kawasaki-chuo-rc.com/>
E-mail : info@kawasaki-chuo-rc.com

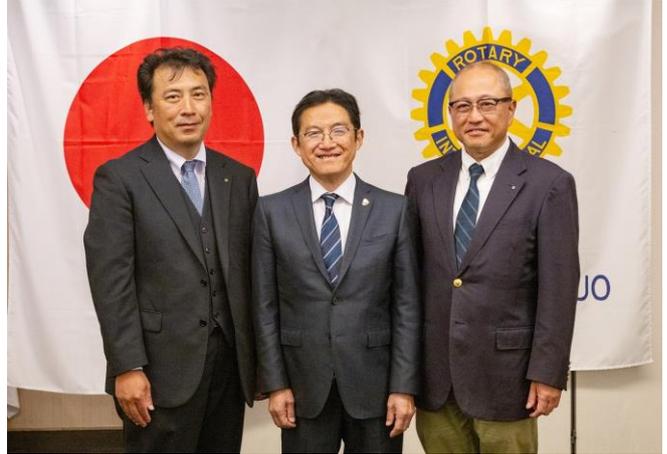
先達を敬い、未来を見据えて行動をしましょう！

例会：毎週月曜日 12:30

例会場：川崎日航ホテル TEL: 044-244-5941

事務所：210-0004 川崎市川崎区宮本町7-1 三陽会館ビル5階

TEL: 044-233-3005 FAX: 044-233-8460



幹事 会長 副会長
谷中 努 牧島 聡 安東仁志

第1681回 令和5年11月27日 VOL.39 No.16

川崎中央ロータリークラブ WEEKLY

- 司会…… 熊野S A A
- 点鐘…… 牧島 聡 会長
- ロータリーソング 瀧上会員
「我等の生業」
- 本日のメニュー 洋食

特別ビジター紹介

米山奨学生 宋文婷様

ビジター紹介

野澤隆幸様 (川崎大師RC)

出席報告

林信宏出席委員長

	会員数	出席 該当者	出席者	欠席者	ホーム クラブ	メイク	前々回 修正
1681回	45	44	30	14	68.18		
679回	45	45	45	0	100		

牧島聡会長

11月の誕生日

長島親睦活動副委員長

長島親睦活動副委員長



牧島聡会長指針 『更なる飛躍の年に、新しい奉仕活動を見つけ、実現しよう！』
～全会員がさらに団結し、新しい奉仕活動を見つけロータリーライフを楽しもう～

川島 光会員(10日) 柳町大介会員 (28日)

会長報告

牧島 聡 会長

- 樋口ガバナーと山本地区大会委員長からお礼状が届きました。
- 川崎市内高等学校定時制教育委員会に 20,000 円を寄付しました。
- 12月3日に開かれる「米山奨学生を囲む集い」に宋さんと山口カウンセラーが出席いたします。
- 12月12日に開かれる「地区ロータリー財団補助金管理セミナー」に私と柳町ロータリー情報委員長が出席いたします。

幹事報告

谷中 努 幹事

◎ 例会変更のお知らせ

川崎南RC

- 12月15日(金) 休会
- 12月22日(金) 年忘れ家族例会
- 12月29日(金) 休会

令和6年1月5日(金) 休会

川崎大師RC

- 12月13日(水) 移動例会 年忘れ家族会
- 12月20日(水) 休会
- 12月27日(水) 休会
- 令和6年1月3日(水) 休会

◎ 週報を送ってくださったRC

ありません。

◎ 本日の配布物

- 会報 11/15
- 理事会議事録

米山奨学金授与

牧島会長



米山奨学生 宋さん

委員会報告

地区大会 長寿表彰

- 飯島美代会員 川島 光会員
- 増山雅久会員 関 進会員
- 青木松枝会員



飯島会員



増山会員

7クラブゴルフの報告

山口実行委員長

牧島聡会長指針

『 更なる飛躍の年に、新しい奉仕活動を見つけ、実現しよう! 』

～全会員がさらに団結し、新しい奉仕活動を見つけロータリーライフを楽しもう～

王座奪還!!

高後さんは一般の部でベスグロ賞となりました。



スマイルレポート

安東副会長

- 野澤隆幸様…久しぶりにメイクアップさせていただきます。楽しみにしております。(川崎大師RC)
- 鈴木慎二郎様…ロータリー財団月間にて伺いました。本日より宜しくお願い申し上げます。(川崎マリーンRC)
- 牧島会員……久しぶりの通常例会ですね。
本日は、地区ロータリー財団副委員長、地区研修委員会委員の川崎マリーンロータリークラブ所属の鈴木慎二郎様にお越しいただき、「ロータリー財団について」卓話をいただきます。どうぞよろしくお願いいたします。
- 谷中会員……①7クラブ対抗ゴルフ優勝できました。ホストクラブで無事終了しました。山口実行委員長お疲れ様でした。
②地区ロータリー財団副委員長鈴木慎二郎様宜しくお願い致します。
- 川島会員……①鈴木様ようこそ!!卓話楽しみにしております。
②誕生日祝をありがとうございます。
- 関 会員……鈴木副委員長本日はようこそ!ご指導のほどよろしくお願い致します。
- 松本会員……本日の卓話鈴木様よろしくお願い致します。勉強させていただきます。
- 青木会員……鈴木様本日の卓話よろしくお願い致します。
- 伊藤(康)会員…①地区R財団副委員長鈴木慎二郎様本日の卓話、どうぞよろしくお願い致します。
②野澤様いつもありがとうございます。
- 石川会員……皆様お元気でいたでしょうか?野澤様お久しぶりです。鈴木様本日の卓話よろしくお願い致します。
- 木村会員……①10月に同居していた長年家族が家を購入して金沢文庫の家の近くに引越しましたが、先日ある国の難民を5人受け入れました。言葉や生活習慣が違いますので大変ですが、良い経験をしています。いつかロータリークラブにお連れしようと思います。
②鈴木さんロータリー財団についてのお話し楽しみにしています。よろしくお願い申し上げます。
- 渡辺会員……鈴木様、本日はロータリーの話し楽しみにしております。
- 渡部会員……会員増強委員長 坂本様本日の卓話よろしくお願い致します。
- 上原会員……皆さまお久しぶりでございます!ロータリー財団夫君長の鈴木様ようこそお越し下さいました。よろしくご指導くださいませ。
- 山口会員……先日は7クラブゴルフ大会に御壱酸化の皆様、ならびにお手伝いくださった皆様ありがとうございました。

本多会員……寒くなったり暖かくなったり…と気温差が激しいですが、昨日近所を散歩していたら、ようやく紅葉も進んできたように思いました。本日は、鈴木地区ロータリー財団副委員長、ご来訪および卓話をありがとうございます。よろしくお祈りいたします。

石田会員……急に寒くなりましたね。本日卓話鈴木様よろしくお祈りいたします。

萩原会員……鈴木様、卓話宜しくお祈りいたします。

長島会員……クリスマス家族会が近づいてきました。皆様に協賛金を宜しくお祈りいたします。

森崎会員……皆様、久々の例会参加です。宜しくお祈り致します。今年ももう12月です。ビックリですね。

瀧上会員……ジャンボリーミッキー踊りすぎて足がバンバンです。クリスマス近づいて来ましたね。楽しみです。

高後会員……ようこそ鈴木様、卓話楽しみです。

原 会員……11月20日にお時間を割いていただき歓迎会を開催していただきまして誠にありがとうございました。引き続きどうぞ宜しくお祈り申し上げます。

安東会員……①地区ロータリー財団副委員長鈴木様ようこそいらっしやいました。ご指導のほどよろしくお祈り致します。

②7クラブ王座“ダッカン”やりました！

1681回	23件	28,000円	累計	253件	392,000円
-------	-----	---------	----	------	----------

卓 話

R財団について

地区ロータリー財団副委員長
鈴木慎二郎



◎ロータリー財団のあらまし

本日はロータリー財団に関するあらましをお話させて頂きたいと思っております。まず財団と聞くと何のことやらと思われる方も多いのではないかと思います。

もっとも多いイメージは難しいです。実はそれにはとある理由があるということをお話させて頂こうと思っております。

まずロータリー財団の概略をお話いたします。ロータリー財団は私たちの地域社会から世界的規模の地域といった大きな幅の中で国際ロータリーが目指す世界平和への礎となる社会貢献活動への支援を行う世界有数の慈善団体となっています。簡単に言えば国際ロータリーは例会や活動を通して奉仕の理念に基づいた人づくりを行い、ロータリー財団

はそこで培った奉仕の理念の実践を社会貢献活動を通して行っていく場ということになります。

設立は今から104年前の1917年、時のRI会長であるアーチ C. クランフが世界でよい事をしようという理念から基金の提案を致しました。最初の寄付額は26ドル50セント。現在の価値でいうとおおよそ米ドルで662.5ドルとなるそうです。現在は総資産も11億ドルを超える規模にまで成長を致しました。

よく国際ロータリーは非営利法人なのになぜ、財団を作る必要があったのかという疑問がありますが、国際ロータリーは設立時より寄付者への税の優遇措置条項がありませんでした。そこで優遇措置(所得控除)が受けられる条項に基づく新たな非営利法人の設立が求められロータリー財団が設立されたのです。日本国では2010年12月24日に内閣府より公益財団法人ロータリー日本財団の認定を受け、税制上の優遇措置を得ることが可能となりました。日本国内での税の優遇を受けるということで財団への送金は円を選択しなければ優遇措置は受けられないことはご注意頂きたいところです。このようなロータリー財団の協力団体はカナダ、ドイツ(2団体)、インド、イギリス、オーストラリア(2団体)、ブラジル、日本、韓国、イタリアの9か国11団体が存在しています。

ロータリー財団は歴史と実績をもつ巨大な組織となりましたが、多様性・柔軟性を持つ組織でもあります。ロータリー財団を語る上で不易流行という言葉はとてもフィットするように思えます。変わらぬ理念にもとづいて時代にあった、時代に要求される手法に変えて奉仕を実践していく柔軟さは決してそれまでの形にとらわれることはありません。近年での自然災害支援やCovid19への支援、ウクライナ周辺地域への人道的支援などスピード感を持って対応にあたっている事は皆さんにも記憶に新しいものだと思います。

ロータリー財団の最大の特徴とは何か、それは活用される資金のすべてが支援して下さる皆さんからの寄付のみによって成り立っているという事です。

ロータリーの5大奉仕事業は皆様からの人頭分担当金が原資となり、その活動が進められていきますが、財団は寄付が少なくなればおのずからその活動のふり幅は縮小せざるを得ない事になります。そして皆さんからの寄付をお預かりし、運営していくということは1円の無駄も少しのゆるみも決してあってはならないのです。

次に皆さんからの貴重な寄付がどのように運営されているかのお話をいたします。集められ資金は3年間の投資を行い、その運用益の一部を加えた金額がロータリー財団の世界共通の財布であるワールドファンドとそれぞれの地区の財布・・・2590地区の財団活動資金に半分ずつに割り振られて使われていくのです。これがシェアシステムという仕組みとなります。年次資金投資の収益率は直近5年間で5.4%を計上しています。驚くべき収益を挙げて資金の上乗せ分を作りだしているのです。そして使用される予算の約89%が奉仕プログラムに費やされ、残り11%で一般管理運営と寄付推進事業が賄われています。その運営の公正さから慈善団体格付け機関チャリティーナビゲーターからは15年連続で4つ星評価を受けているのです。このようにガラス張りとなっているロータリー財団の資金は運用・使用についての報告が毎年、MYROTARYにおいて年次報告として掲載されています。寄付を頂く以上、当然のことではありますが、同時にその資金を利用する側には応分の責任と義務を負う事が求められるのです。これらの管理を資金監査委員会が担うのですが、

クラブは財団の補助金を使用する場合はMOUという覚書を地区と締結します。地区は同様にロータリー財団本体と覚書を交わします。この相互の書式締結はロータリアンの浄財を使用する義務と責任を全うする覚悟を表しているのです。プログラムが終了すればその終了報告について管理委員会による審査が行われ、最終的にはロータリー財団とは無関係の人員で構成されるロータリー財団監査委員会が最終的なチェックを行います。こうしてようやく1つのプログラムが完結していくわけです。皆さんからの貴重な資金を管理・運営する責任をロータリー財団各委員会は内外のダブルチェックでしっかりと負っていることをご理解いただけたら幸いです。

ロータリーとポリオの関係についてお話をさせていただきます。ロータリー財団の年間予算の45%を使用する国際ロータリーの最優先事項であるポリオプラスは国際ロータリーが1979年から着手したポリオ根絶のための活動で現在では99%以上が減少し、常在国が2か国にまで減らすことになりました。それでも紛争や様々な理由からワクチン投与が進まずに根絶までには至っていません。またワクチン投与と共に重要なのがサーベイランス(予見調査)です。現在、野生株はメコンデルタ地帯、変異型ポリオウイルス2型はアフリカにほぼ発生源を特定致しました。グローバル化が進んだ世界では最近、根絶されたはずのNYやロンドンで環境サンプルよりポリオウイルスが確認されたことはサーベイランスの重要性が高まっている根拠となっています。このことはポリオが世界のどこかに存在する限りどの国においても脅威であることを改めて思い知らせるものとなりました。それは日本でも再び、感染が起こりうることであります。35年かけて99%が減るといふことは何もしなければ元に戻る可能性もあるということです。

嬉しいご報告を2点させていただきます。1点目はロータリー財団奨学生のお話です。事業開始以来、当地区の奨学金学友は350名を超えました。つい先だっても学友たちによるアカデミック講座というプログラムが開催されました。留学を目指す次世代の一般学生に対して自らが経験した話や研究内容などを聞いていただくミニ市民大学のような取り組みです。学友自らが行動を起こし本年度で2回目となる活動が軌道に乗り始めた意義は大変、大きなものだと思います。

また現在、注目をされているロータリー平和センターの日本人フェローとして当地区のYE、インターアクト、ロータリーアクトを経験された深谷春奈さんが見事に合格されました。当地区のロータリーファミリーの集大成として更なるご活躍をされることを願っています。

皆さんにとって寄付とは何でしょうか？施しでしょうか？それとも託しでしょうか？私にとってロータリー財団への寄付とは託すこと・すなわち託しとなります。施しは慈しみの心や憐みから物質的な援助を行います。託しにはその気持ちに加えて自分自身が行動できなくても、心は共にあることを、力になりたいという心を物質にのせて託すことで共感すること・・・信託が含まれていると思うのです。奉仕の

機会が身近になくとも、自分が共感する事業に間接的であっても手を差し伸べる事が出来るならばと考えて頂けたらと思います。ロータリー財団月間に寄付をお願いすると多くの会員は言われるがままに協力して下さいませ。これはこれでとてもありがたいことではあります。是非、ロータリー財団の活動を見て、知って、共感して頂きたいのです。その上で改めて寄付の協力をしていただければ、もしかしたら通常の寄付よりも多くの寄付が集まるかもしれません。それだけの魅力と共感できる活動がロータリー財団プログラムにはあるのです。

補助金を受けられる時、皆さんは決まって感謝の気持ちを伝えてくださいます。でもその補助金は皆さんが協力して下さった寄付なのです。いわば自分が出したお金です。自信をもって当たり前のように使っていただきたいのです。そしてその事業は皆さんのクラブの事業なのです。ですからクラブを構成する一人一人が是非、寄付への参加をして頂きたいと考えます。誰かがやってくれるのではなく、自分自身が奉仕事業に共感できるように、皆でその心をつかち合うために、協力をして頂きたいと思ひます。そしてロータリー財団の資金を使用するという事は使用する側も自立を目指した成長をして頂かなければなりません。また手を差し伸べる我々、ロータリアンもそのことを強く自覚しなければなりません。互いがそのことを理解しなければロータリーはただの財布になってしまうからです。

事業を主導するのはロータリーではなく、支援を求める人たち自身です。ロータリーの供与するきっかけを通して支援を求める人たちが自立をし、どう継続していくかが最も大切なことなのではないでしょうか。そして支援が必要でなくなればロータリーは新たな支援の輪を広げていけるのです。ロータリー活動もロータリー財団活動にも最大の脅威があります。それは無関心です。無関心は無感動を生み、いずれは無気力につながります。無気力は、いずれはクラブの弱体化に確実ににつながります。諸悪の根源である無関心の最大の武器は感染力です。その比はコロナウイルスに匹敵するものです。その特効薬は何か、知ることそして共感することです。そのワクチンは皆さんの目の前に、手の届くところに常にあります。各クラブにお配りしているロータリー財団ハンドブック、Web上ではMYROTARYや財団室ニュース、そしてロータリーの友です。また地区財団委員会がそのお手伝いをいたしますので、どんな些細なことでも質問をいただければと思います。寄付は支援をする人を幸せにします。そして支援をした人も幸せにします。皆さんのロータリーライフがより豊かになりますように、是非、ロータリー財団への関心を高めて頂く事をお願いして卓話を終わらせて頂きます。

今週の担当者

瀧上会員

会報委員 瀧上亜里佐 阿野順一
島田喜彦 森崎敏広
和田 裕 坪井麻衣子
事務局 伊藤 清恵

川崎中央ロータリークラブ Weekly
Vol. 39 No. 16
編集・作成 川崎中央RC事務局
発行日 令和5年11月27日

牧島聡会長指針 『 更なる飛躍の年に、新しい奉仕活動を見つけ、実現しよう！ 』
～全会員がさらに団結し、新しい奉仕活動を見つけロータリーライフを楽しもう～